

令和2年6月18日

保護者様

鎌ヶ谷市立北部小学校
校長 羽場 秀樹

熱中症予防に配慮したマスクの着用について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

先週から通常登校と給食が始まり、「学校の新しい生活様式」を指針としながら、本来の学校教育活動再開に向けて徐々に取り組みを進めています。

さて、梅雨入りを迎え、気温30度、湿度70パーセントを越える日が増えてきました。今後は益々このような状況が続くことが十分予想され、それに伴いマスクを着用した上での登下校は、熱中症のリスクが高まることが懸念されます。

つきましては、その対策として本校では下記のように指導していきます。ご家庭におかれましてもお子様へのご指導をよろしくお願いいたします。

記

1. 学校での指導

(1) 暑さ指数 (WBGT) ※¹ が28℃以上になった場合、もしくはそうなることが予想される場合、次の①～③に注意してマスクを外してもよいことを伝えます。

①人から前後左右2メートル以上の間隔をとるようにする。

②おしゃべりをしない。

③話をしなければならないときは、マスクをつける。

※¹ 暑さ指数 (WBGT (湿球黒球温度) : Wet Bulb Globe Temperature) は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度 (℃) で示されますが、その値は気温とは異なります。

暑さ指数 (WBGT) は人体と外気との熱のやりとり (熱収支) に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい ①湿度、②日射・輻射 (ふくしゃ) など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。

(環境省 HP より)

(2) 登下校中、気分が悪くなったり、息苦しくなったりしたときは、マスクを外し、周りの人に助けを求める。

2. ご家庭での指導

登校前に気温が28℃以上になった場合、もしくはそうなることが予想される場合は、マスクを外しても良いことを確認してあげてください。

また、暑さ指数、気温に関わらず、気分が悪くなった場合はマスクを外し、助けを求めるようご指導ください。